

## 性暴力被害者支援への医療連携を進めるために

参加費  
無料

# DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究 中間報告会

DVや性暴力被害に対する支援を日本で進展させていくために、医療機関による支援が重要です。それには、被害を医療関係者が発見し専門支援につなげること、そして診断/治療・証拠採取/保管などの医療支援実施の両方が含まれます。また女性の被害者のみならず、子ども、男性、性的マイノリティの被害者への対応も求められています。産婦人科以外の小児科、泌尿器科、外科、救急医療などにおける対応は、一部を除いてまだ確立されていません。

本調査研究では、医療機関と連携し均質化された相談支援が全国で提供されることを目指し、一方で、医療関係者のDV性暴力被害者支援の経験や認識の現状を調査し、もう一方で性暴力ワンストップセンターやDV相談窓口（自治体や民間団体）側の支援の現状や及び医療支援ニーズの両側面からの調査に取り組んでいます。今回は「中間報告」として、1年目の調査結果のうち、特に性暴力被害者支援を中心に報告し、医療者と相談支援者相互の理解や議論を深めていきたいと思っております。

開場 12:30

日時 2023年 7月 22日 (土) 13:00~15:00

会場 TKP新橋カンファレンスセンター 16D  
(オンライン参加あり)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-1 幸ビルディング

JR山手線新橋駅 日比谷口より徒歩5分

都営三田線内幸町駅A5出口より徒歩1分

【お申し込み・お問い合わせ先】

WEBサイトでお申し込み

<https://peatix.com/event/3590216/view>



後援：日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、日本小児科学会、日本小児外科学会  
日本救急医学会、GID(性同一性障害)学会、日本女医会、性暴力救援センター全国連絡会

# DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究 中間報告会

司会・進行 渥美 治世（研究分担者） 東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 助教

## 1. 開会あいさつ

こども家庭庁

## 2. 「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」について

河野 美江（研究代表者） 島根大学松江保健管理センター 教授

## 3. 調査報告

### 「性暴力被害者支援に関する全国医師調査より～

和田 耕一郎（研究分担者） 島根大学医学部泌尿器科学講座 教授

### 「性暴力ワンストップセンター全国調査より～

北仲 千里（研究分担者） 広島大学ハラスメント相談室 准教授

## 4. パネルディスカッション

### 「子ども、男性、性的マイノリティ被害者の医療支援をどう進めていくか」

ファシリテーター 河野美江

パネリスト

「大阪SACHICOの活動から見えてきたもの」

加藤 治子 NPO性暴力救援センター・大阪SACHICO 理事

「男性性暴力被害者支援の現状」

山田 浩史 性暴力救援センター日赤なごやなごみ 副センター長

「性暴力被害者支援における今後の課題」

大川 玲子 千葉性暴力被害支援センターちさと 理事長

尾花 和子 埼玉医科大学小児外科客員教授

北仲 千里

## 5. 閉会あいさつ

## 【お問い合わせ先】

「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」班  
事務局 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学松江保健管理センター  
河野美江（研究代表者） TEL&FAX: 0852-32-6567  
E-mail: y-kono@soc.shimane-u.ac.jp